

茨城県下水道事業経営戦略の改定について（概要）

令和3年3月

1 改定の目的

茨城県下水道事業経営戦略（H28～H37）については、本県下水道事業を適切・安定的に経営していくためにH28年6月に策定されたところであるが、策定後5年を経過することから、これまでの実績等を踏まえて、後半の5年間（R3～R7）に向けた改定を行った。

2 主な改定の内容

今回の改定は、計画の中間年での改定であるため、計画期間及び経営方針については保持し、時点修正を中心とした見直しを行った。

○計画期間 平成28年度から令和7年度（10年間）

○経営方針

- ・安心で快適な生活環境づくり
- ・安全で計画的な施設の構築と運営
- ・安定した経営基盤の確立

（1）主な取組事項

①施設の老朽化対策の推進

H29～H30に策定したストックマネジメント計画に基づき、長寿命化に向けた改築工事を推進

②施設の耐震化・耐水化の推進

「耐震対策計画」に基づく耐震化の段階的推進及び新たに策定する「耐水化計画」に基づく浸水対策の計画的実施

③施設の管理運営の充実

処理場等の管理運営における指定管理者制度の効果的運用を推進

（2）投資計画の見直し

ストックマネジメント計画等に基づき、老朽化が進んでいる水処理施設や管渠等の改築及び耐震化等を着実に実施するとともに、圏央道IC周辺整備等の新たな開発計画に対応した水処理設備等の増設を計画的に行う。

○建設改良費【流域下水道】 改定前：289億円 → 改定後：395億円（+106億円）
【鹿島特定公共下水道】 改定前：95億円 → 改定後：151億円（+56億円）

（3）財政収支計画の見直し

投資計画及び水量予測等を見直した結果、計画期間中の純利益は、約92億円を確保できる見込みである。

○純利益【流域下水道】 改定前：52億円 → 改定後：62億円（+10億円）
【鹿島特定公共下水道】 改定前：11億円 → 改定後：30億円（+19億円）